

発行 豊頃町  
〒089-5392  
中川郡豊頃町茂岩本町125番地  
☎015(574)2216  
発行日 2023年4月28日  
編集 豊頃町企画課広報情報係

今月の表紙



「わくわく、どきどき、今日から新一年生!」これから始まる学校生活。楽しみな事、不安な事などを胸に出発しました。入学された児童生徒、保護者の皆さま心よりお祝い申し上げます

役場などの連絡先

- ◆役場  
☎(574)2211(代表)・FAX(574)3750(総務課)
- ◆各課等(ダイヤルイン)  
総務課 .....☎(574)2211  
住民課 .....☎(574)2213  
福祉課 .....☎(574)2214  
施設課 .....☎(574)2215  
企画課 .....☎(574)2216  
産業課 .....☎(574)2217  
農業委員会 .....☎(574)2218  
議会事務局 .....☎(574)2222  
教育委員会(教育課) .....☎(579)5801  
教育委員会(図書館) .....☎(579)5802
- ◆支所・出先機関・町内関係機関  
大津支所 .....☎(575)2021  
こどもプラザとよころ .....☎(574)3931  
保健センター .....☎(574)3141  
給食センター .....☎(574)4600  
社会福祉協議会 .....☎(574)3143  
ココロコテラス .....☎(578)7202
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口  
NTT 東日本データセンター ☎0120(860)023  
[24時間365日受付]

ホームページ

豊頃町 <https://www.toyokoro.jp/>  
豊頃町社会福祉協議会 <http://toyokoro-shakyo.com/>

豊頃町の人口と世帯

3月31日現在(前月比)  
住民基本台帳に基づく  
人口 2,958人(-10)  
男 1,436人(-6)  
女 1,522人(-4)  
世帯 1,462世帯(+3)

町内の交通事故

交通事故死ゼロ1,690人  
令和5年1月1日  
~4月10日(前年比)  
発生 1件(0)  
死者 0人(0)  
傷者 1人(0)

目次 CONTENTS

地域おこし協力隊  
町の日常を、魅力的な価値として伝えたい

- 広報とよころ
- 04 第20回統一地方選挙終わる
  - 06 小・中学校に転入された先生方及び役場新規採用職員を紹介します
  - 08 健康だより「巡回ドック 子宮がん乳がん検診」
  - 09 新型コロナワクチン接種のお知らせ
  - 10 誰もが最期までいきいきと暮らすために ほか
  - 11 はるにれは見ていた
  - 14 豊頃町公共ポイント制度
  - 16 豊頃町次世代育成支援金制度について
  - 17 茂岩栄町町有地を分譲しています ほか
  - 19 地域安全ニュース - 駐在だより
  - 20 国民年金からのお知らせ
  - 21 我が家のアイドル・町民文芸
  - 22 みんなの図書館
- 議会だより
- 23 当初予算
  - 24 当初予算の主なもの
  - 25 令和4年度補正予算
  - 26 主な審議内容
  - 28 一般質問
  - 30 総務文教常任委員会レポート
  - 32 産業厚生常任委員会レポート
  - 33 議会日誌
- 役場だより
- 34 INFORMATION ◎目次あり  
主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー  
豊頃物産直売所5月4日(木)から営業開始

お早めにマイナンバーカードをお受け取り下さい!

- \* マイナポイントの申込期限が令和5年9月末まで延長されました。
- \* ポイントの申込みには令和5年2月末までに申請したマイナンバーカードが必要です。交付通知書(ハガキ)が届いたら、お早めにカードを受け取りにお越しください。
- \* ポイント申込み期限間際は窓口が混雑します。余裕を持ったご対応をお願いします。

【問合せ先：住民課戸籍年金係 ☎574-2213】



4月1日から「地域おこし協力隊」として着任した高橋強さん、高橋真里奈さん。二人はご夫婦であり、兵庫県明石市から家族5人で移住されました。豊頃町に来る前、強さんは大阪の百貨店の催事企画の仕事をしていました。催事企画のキャリアは11年にわたり、「北海道物産大会」などの名物催事から、「北欧フェア」や「カレーとカレーのためのうつつ展」といった新しい催事まで、多くの催事を企画されてきたそうです。「素敵な商品を発掘するのも大切ですが、もっと大切にしていることは生産者さんと一緒に商品を作り、それをPRしヒットさせること。文化祭を作り上げるような達成感と感動を、生産者さんと体感できた時が一番嬉しい瞬間です」と強さんは話します。一方、真里奈さんは産婦人科で臨床検査技師の仕事をしていました。血液検査や胎児エコーといった検査業務を通して、妊婦さんとコミュニケーションする医療従事者です。「女性にとって、妊娠は生死をかけた一大イベントです。私も3人の子供を出産したので、肉体・精神的な過酷さがよく分かります。妊婦さんの表情から言葉にならない心情を汲みとり接する難しさとやりがいを感じてきました」と真里奈さんは話します。新築の一軒家を建て、3人の子宝に恵まれ、順風満帆に見えた生活。しかし、新型コロナウイルスによって、二人の価値観は大きく揺らぐことになりました。強さんはこう言います。「集客を追求することが否定され、戸惑いました。会社に出勤できない数ヶ月の中で、これからの人生を考えざるをえませんでした」

コロナの終息が見えない2020年。高橋さん夫婦は、個人でイベントを開催することを考えます。クラウドファンディングで資金調達し、カレー業界を盛り上げるオンラインイベント「カレー8時間TV」を通して、文化祭を作るときの達成感と感動を感じた、と高橋さんは話します。このイベントを動画編集者としてサポートした真里奈さんも、自分の作ったものが広がっていく面白さとやりがいを感じたそうです。生産者さんと一緒に感動したい!という原点に戻り、自分のやりたいことを全力で取り組みたいと考えるようになった高橋さん。そんな時に、大学生生活を過ごした十勝地方である豊頃町の地域おこし協力隊のフリーミツシヨンの募集を見つけました。「私が北海道物産大会を担当していた時、豊頃町の産品を取り扱う機会はありませんでした。しかし、農業・林業・水産業の全てが豊頃町にはあります。おまけに町の一次産品の品質は折紙付ですし、豊頃町の何気ない日常の中にも魅力がたくさんあると思います。そんな魅力が分かりやすく面白く伝え、豊頃町の価値を高めていきたいです」

活動のはじめとして、町の情報を発信したいと話す高橋さん。町民への取材もどんどんしていきたいそうです。愉快的な高橋ご夫婦が、町のどんな魅力を伝えてくれるのか。高橋さんも豊頃町もワクワクとドキドキで、胸がいっぱいです。



▲高橋夫婦のSNS「トヨコロタカハシラ」はこちらから

地域おこし協力隊  
町の日常を、魅力的な価値として伝えたい